

産業雇用安定センターは、出向による

人材の交流・育成も サポートしています

企業間の交流や人材育成等を目的とした出向支援にも取り組んでいます。

従業員の
能力開発や
人材育成

[利用料]
無料

企業間の連携や
人材交流による
企業力の強化

従業員本人の
キャリア、
スキルアップ

送出をする時

- ・他企業での就業経験により従業員の能力、技能向上を図りたい
- ・幹部候補社員を育成したい
- ・従業員のキャリアアップ希望に応えたい

受入をする時

- ・新規事業の企画、開発要員を募集したい
- ・新規分野開拓のために経験者を受入れたい
- ・技術指導、援助を受け職場のレベルアップを図りたい

出向によるキャリア・ステップアップの事例

- 送出企業の事業再編に伴う配置転換の際に、出向者から培ってきた技術を活かせる部門への希望があり、社外勤務を視野に入れ幅広く人材の適正配置を行い、出向者のキャリア・ステップアップに繋がった事例

■スキル・経験：設計開発技術、海外での生産・品質管理経験

	送出企業	受入企業
業種（企業規模）	通信機械器具製造業（大企業）	精密板金加工業（中小企業）
出向者の職種	生産技術管理職（担当部長）	工場長

【出向の経緯】50歳台のケース

送出企業

配置転換面談時に、出向者からこれまでのスキルを活かせる部門への配置転換希望が出されたが、社内に適職がないことから、社外勤務（出向）先を探すことになった。

出向者

面接を通して、17年間に及ぶ海外子会社での業務経験が、今回の新業務の中で十分活かせ、職務領域も広がり、キャリアアップにもつながると判断し、業種の異なる事業分野への挑戦を決意するに至った。

受入企業

工場長の定年退職に伴い、高品質の板金技術の伝承と工場の「生産管理体制の革新」「安全・環境管理レベル向上」等の推進が出来る経験者を探していたため、出向者を受入れることにした。

出向による人材交流・育成の事例

- 出向を活用し後継者育成を図ることができ、将来に向けて有益な企業間交流ができることになった事例

	送出企業	受入企業
業種（企業規模）	冷凍調理食品製造業（中小）	加工食品製造業（大）
出向者の職種	保存食品・冷凍加工食品製造工	保存食品・冷凍加工食品製造管理

【出向の経緯】20歳台のケース

送出企業

- ・食品提供企業として、食品安全システムの導入を図る必要があると考え、実施している企業で従業員（幹部候補）を学ばせたいとセンターに相談をした。
- ・出向者は受入企業で工場を巡り実務研修を受けることで、食品安全システムの重要管理ポイントや従業員の労務管理等を学ぶことができ、自社に戻った際にこれらの経験を活かすことができる。また、受入企業の幹部社員との人脈を構築することもできる。

受入企業

将来の幹部候補社員を受入れることにより、企業間の連携を強化することができるため、出向受入に応じた。

産業雇用安定センター

相談を受け既に食品安全システムを導入している企業に、出向者の受入が可能か検討依頼をした結果、出向受入の承諾が得られた。

- 送出企業の事業拡大の準備のための人材教育と、受入企業の人材確保のニーズがマッチし、互いに人材交流も図ることができた事例

	送出企業	受入企業
業種（企業規模）	医薬品・化粧品小売業（大）	一般病院（中小）
出向者の職種	調剤薬局管理	薬剤師

【出向の経緯】40歳台のケース

送出企業

- ・高齢の在宅医療患者が必要とする、無菌製剤を調剤できる「無菌調剤薬局」を作りたいと考えているため、調剤薬局部門の責任者を、既に実施している病院内の薬局に短期間の出向をさせ、そのノウハウ等を学ばせ、「無菌調剤薬局」の体制づくりを進めたい意向をもっていた。
- ・出向者は社命を受け、初めての病院薬剤師業務でスキルアップできると意欲的である。

受入企業

薬剤師の育成に積極的な社風で、独自に「病院薬剤師業務の研修カリキュラム」も作成しており、外部からの研修受入にも前向きで出向受入に応じた。

産業雇用安定センター

送出企業からの教育出向を受入企業へ提案したところ、3か月程度の研修期間で、薬剤師教育を引き受けることになり、出向手続きを進めることになった。